

教育プログラム・コースの概要

大学名等	三重大学大学院医学系研究科						
教育プログラム・コース名	地域包括ケアのもとでライフステージに対応したがん医療を担う看護師養成コース						
対象者	看護学専攻博士前期課程						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	地域包括ケアの時代に、対象のニーズに合ったがん医療を提供するためには、チーム医療が重要であり、中でも専門的知識・技術を備え多職種と連携・協働できる看護師が求められている。このコースでは2種の看護職を養成する。その1つは、①臨床現場で解決困難な看護問題に挑戦するがん看護専門看護師であり(CNSコース)、他の1つは、②がん看護に関する実践力・教育力・研究力を備え、病院や地域で現任教育に携わる看護師である(論文コース)。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	このコースでは、本看護学専攻出身のがん看護専門看護師が運営する三重CNS会と連携した学習会を定期的に行うことにより、大学院生に、より実践的な学習機会を提供している。また、三重県内の7病院をインターネットで結んだ多職種カンファレンスにも参加しチーム医療を実践的に学び、地域包括ケアの時代において、がん看護専門看護師としての役割開発と、地域における保健・医療・福祉ネットワークを構築するための基盤となる教育を行っている。						
指導体制	CNSコースについては、日本看護系大学協議会の高度実践看護師教育課程として認定されている。大学院の講義・演習科目については、医学系研究科の教授・准教授・助教、附属病院の医師、専門看護師等および非常勤講師により教授する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	CNSコース修了者は、その後6ヶ月以上臨床実践を重ねた上で、がん看護専門看護師(日本看護協会)の認定をめざす。認定後は、専門看護師としてがん看護の質向上に貢献する。論文コース修了者は、現任教育としてがん看護の質向上に携わる。両修了生らは、それぞれの場で研鑽を積み、さらに自らの課題を探究する場合には、看護学専攻博士課程においてさらに学ぶことができる。						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護学専攻博士前期課程	2	2	2	2	2	10
	計	2	2	2	2	2	10